

平野整機工業 株式会社

固化原料ほぐし装置 「砕き太郎」で得意先広げる

納期
相談
メイト
イン
ジャパン
試作可
小ロット



横押し機構付きの「砕き太郎」

業務内容 設備の設計から メンテナンスまで対応

同社はもとより、化学機械の保守を請け負う企業として創業。現在では工場設備の更新工事やメンテナンスのほか、顧客から相談を受けて設備の設計・溶接、機械加工、組立現場での配管工事なども請け負っている。

平成12年にはオンラインの顧客サービス提案を、自社の特許保有技術を生かした固化材料ほぐし装置「砕き太郎」を開発。棒で叩いたり地面に打ち付けて砕いていた過酷な作業から現場の作業員を解放したいといった発想で生まれた製品であり、中身が固まった化学品原料などの袋を破らず中身をほぐすことができる。改良を重ね、現在は粉体だけでなく樹脂ペレットなどにも対応している。

強み 多様な困りごとに即応 製品開発力にも自信

メンテナンスからスタートした企業だけに、顧客の設備トラブルには迅速に対応できる体制が整っており信頼は厚い。また、「顧客の困りごとに即時に対応する」という経営理念によりさまざまな相談にも応じてきた結果、設備の設計から現場での工事に至るまで、工場設備に関する要望にトータルで応えられる力を持つ。

顧客の要望に応じて、省力化機器や自動機器などオーダーメイドの製品を設計・製作することも可能だ。独自に製品を製作できる開発力・技術力に自信があり、それが「砕き太郎」の開発につながっている。

ヒット製品 幅広い業界で採用 展示会では波及効果も

独自開発製品である「砕き太郎」は、販売



展示会にも多数出展



製造現場

開始から17年が経過。大手化学メーカーだけでなく大手食品メーカーなどにも採用され、化学品原料、樹脂ペレット、食塩類、砂糖類、食品添加物など、幅広い製品のほぐし実績を持つ。製品技術データベースサイト「イブロス製造業」のランキングでベスト100に入るほど、全国的にも名の通った製品だ。

展示会への出展機会も多く、出展する際は必ず平野隆雄社長が説明に立ち、トップセールスに当たる。「砕き太郎」の高い技術力にひかれた来場者から、工場設備の更新工事などの相談を受けるといった波及効果もある。

今後の展望 東南アジアなど 海外市場の開拓も視野に

「砕き太郎」については現在、新タイプの「KT104RW3D」の販売に力を入れている。従来機ではほぐし切れなかった袋の長辺方向の側面を、横押し機構を組み入れることでほぐせるように改良。樹脂やゴムペレットのほぐしに適しており、この製品でユーザー層を広げたい考えだ。

類似製品が少ないことから、今後は海外展開も進めていく予定だ。アジアや欧州市場の開拓を視野に入れ、特に過酷な作業に悩む人が多いとみられる東南アジアを有望市場に位置づけている。国別の特許取得、もしくはPCT（特許協力条約）国際出願も検討しているという。

当社の歴史



先代の平野良一が化学機械の保守事業を個人で立ち上げ、私が2代目となります。「お客様の困りごとに即時に対応する」を経営理念に掲げ、機械の保守だけでなく組立や現場での工事などにも対応します。粗砕機「砕き太郎」も、困りごとに対応するという理念から生まれたものです。

代表取締役社長 平野 隆雄さん

<http://www.hiranoseiki.co.jp/>

主な事業内容

工場設備の更新工事やメンテナンス、自社製品の製造・販売

主な取引先(納入先)

化学薬品・医薬品メーカー、食品メーカー、粉体メーカー、化学系・機械系商社

●住所

〒590-0983
堺市堺区
山本町2-65-15

●TEL

072-228-1775

●FAX

072-225-2362

●創業

昭和40年11月

●設立

昭和43年4月

●資本金

1,000万円

●従業員

17名